

【 金属工芸全般における表現及び技法の研究 】

【 研究キーワード： 鍛金・彫金・鋳金、金属造形、金属彫刻、金属工芸、chisel work、casting work 】

芸術学部 デザイン工芸学科

教授 永見 文人 NAGAMI, Fumito

研究シーズの概要

金属を素材とした製品の開発、リデザインに関わる技術研究。金属を素材としたモニュメント制作の研究。
金属工芸品の修復、復元等の研究。

研究シーズの詳細

◆研究例◆

◆社会人講座を活用して、企業社員の技術研修とともに新たな金属製品の開発。消えかけていた広島銅蝨の技術研修と試作を重ね、新たな製品化に結びつけた。



◆広島 A.D.C(広島アートディレクターズ)賞トロフィー制作(2009年制作)：デザインと実制作を担当。



◆研究例◆

◆山口県立岩国総合高校(旧岩陽高校)「大校章」の制作(1995年制作)：一般市民からの公募デザイン(平面)を立体的なデザインに起こし、実制作までを担当した。



◆シニアアートフェスティバル受賞者用記念品制作(2011年制作)：展覧会の審査委員と商品のデザイン提案、実制作を担当した。



◆「地域共創センター(大学構内)」の看板制作(2024.4完成)



想定される用途・応用例

- ◆新たな製品開発の展開やリデザインの考案と実制作。
- ◆コーポレーションアイデンティティを示すモニュメント。公共モニュメント、看板などの制作。
- ◆金属工芸等の文化財の修復、復元、レプリカの制作。

セールスポイント

金属工芸技法については、古典から、最新テクノロジーを取り入れたものまで幅広く研究します。
金属製品のデザインと政策研究を行っています。

問い合わせ先：広島市立大学 地域共創センター

TEL:082-830-1764 FAX:082-830-1555

E-mail:ken-san@m.hiroshima-cu.ac.jp

〒731-3194

広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
(情報科学部棟別館1F)